

JAIA F☆☆☆☆

環境対応接着剤

ダイアボンド DE287FR-2

ダイアボンドDE287FR-2は、パネル組立および車両用床敷物や床パネルの隙間シール用に開発された難燃タイプの2液性常温硬化形エポキシ樹脂系シール兼用接着剤です。

§ 特長

1. ノンホルムアルデヒド仕様です。
2. 難燃タイプの接着剤です。
難燃性：ASTM-162
発煙性：ASTM E-662, BSS-7239
3. 金属、プラスチックなど広範な材料の接着に優れます。

§ 用途

1. 各種パネルの組立て
2. メタルオーバーレイ
3. 隙間シール

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

	主 剤	硬化剤
主 成 分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン
外 観	こげ茶色	黄白色
不 揮 発 分 (%)	100	100
粘 度 (mPa·s) at20°C	10,000 ~ 50,000	30,000 ~ 90,000
保 証 期 間 (月) at25°C	12	12
混 合 比 (重量)	100 対 100	
可 使 時 間 (分) at20°C	40 [1kg 混合]	
硬 化 時 間 (時間) at20°C	12	

§ 温度と可使用時間の関係 (1kg 混合)

10 °C	15 °C	20 °C	25 °C	30 °C
65 分	50 分	40 分	30 分	23 分

§ 温度と硬化時間の関係

20 °C	60 °C	80 °C	100 °C
12 時間	1.5 時間	20 分	7 分

§ 使用方法

パネル組立

1. 前 処 理 被着材表面の水分、油その他の汚れを取り除き、清浄にします。
アルミやステンレスは、接着面をサンディング処理 (#60 サンドペーパー相当) した後、アセトンを浸した布で拭いて下さい。
* アルミニウムに関しては、鏡面がなくなるまでサンディングを行って下さい。
* 布はこまめに取り替えて下さい。
2. 計量・混合 事前に主剤と硬化剤各々をよく攪拌して下さい。
主剤と硬化剤は、100 対 100 (重量比) の割合で計量し、十分に攪拌混合して下さい。
3. 塗 布 混合後の接着剤を可使用時間以内にヘラ又はクシゴテなどで塗布します。
塗布量 : 平滑面相互の場合 150~250 g/m²
メラミン化粧アルミ板の場合 400 g/m²以上
粗面やハニカムコアの場合 500 g/m²以上
4. 貼り合わせ 直ちに貼り合わせます。
5. 加圧・養生 圧縮し、硬化するまで加圧養生します。

シーリング

1. 前 処 理 被着材表面の水分、油その他の汚れを取り除き、清浄にします。
2. 計量・混合 事前に主剤と硬化剤各々をよく攪拌して下さい。
主剤と硬化剤は、100 対 100 (重量比) の割合で計量し、十分に攪拌混合して下さい。
3. 塗 布 チューブやオイラーなどを使って隙間に充填します。
4. 養 生 常温下でそのまま保ち、硬化させます。

後処理 使用器具は、接着剤が硬化する前にアセトンなどで洗浄し、残りの接着剤は密栓をして冷暗所に保管します。

§ 接着性能

引張せん断接着強さ

MPa

常態		耐熱 80℃	熱老化 70℃×168時間
12時間	24時間		
15.0	20.5	3.0	22.8

被着材：ステンレス板相互

試験方法：JIS K 6850 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 使用可能時間は、気温や混合量によって異なります。混合量は、可使時間内に使い終える量にして下さい。
- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 使用器具の洗浄には、アセトンをご使用下さい。
- ・ 作業中は、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取り扱い中は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクを付け、さらに頭巾、保護眼鏡、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋を着用して下さい。
- ・ 容器から出し入れする時は、こぼれないようにして下さい。容器からこぼれた場合には、布でふき取り、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- ・ 作業着などに付着した場合には、その汚れを良く落として下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診断を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・ 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合は、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 指定された以外の材料と混合しないで下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。